

100年の魂とうとうがなし 伝統を受け継ぐ5つの輝き

奄美高等学校 PTA会長 正寿江利まさすえとし

す。

本校は、前身である名瀬村立名瀬実科高等学校として大正6年にその産声をあげました。以来、奄美高等学校、大島高校第2部、大島女子高等学校と改称の後、大島女子、名瀬、大島農業高校3校が合併し昭和29年に県立大島実業高等学校が発足致しました。昭和45年には奄美高等学校へ校名を変更し、平成22年の大島工業高校閉校決定に伴い機械電気科を新設。商業科、情報処理科、家政科、衛生看護科と併せて特色ある五つの学科で、本年6月2日に創立100周年を迎えることができました。

PTA新聞発行

広報部を軸に1学期の終わりと卒業式の前に年2回発行しています。生徒たちや保護者に関心を持ってもらう記事にする作業の中で、今年は、100周年という節目の年でもありますので、現在奄美高校に在籍する同窓生の教職員座談会を記事にしました。先生方も同じ奄美高校や大島工業高校の卒業生であるということを生徒や保護者に知ってもらおうと共に、本

PTA研修会

奄美市の連絡協議会の参加のみに止まらず、地区や県九州、全国と様々な各種研修会に参加することで各学校の取組や事例等を学びPTA活動活性化に生かしていま



チャレンジショップ

奄美高校レストラン

クルーズ船「ばしふい

ちで製作しました。料理のみならず装いの面からも奄美をPRし、さらにプロの方の真剣に取り組む姿を目の当たりにし、生徒自身大きく成長出来た事業となりました。

校卒業後に教師として母校にかえる選択肢があることを伝えることが出来たと思います。先生方の高校時代の様子を知ることができて、特に生徒の反響が大きかったようです。

1面を使い100周年記念ポロシャツ販売の掲載や記念ポトル、生徒たちが企画した商品の宣伝など充実した紙面作りになっています。紙面作りには県の広報紙研究会に参加して幅広いアイデアを得てそれを参考にしました。

「面を使い100周年記念ポロシャツ販売の掲載や記念ポトル、生徒たちが企画した商品の宣伝など充実した紙面作りになっています。紙面作りには県の広報紙研究会に参加して幅広いアイデアを得てそれを参考にしました。」

チャレンジショップ

名瀬まち商店街や大型クルーズ船寄港時などに商業科、情報処理科の生徒を中心に「地域に貢献できる人材育成」をコンセプトに、生徒たちが企画した奄美の食材を使用したキュールやアイスクリーム等の販売を実施しました。企画から販売までを、より実践的に学ぶ機会を設けると共に奄美のPR活動にも一役買っています。

ちで製作しました。料理のみならず装いの面からも奄美をPRし、さらにプロの方の真剣に取り組む姿を目の当たりにし、生徒自身大きく成長出来た事業となりました。

各種行事への協力

体育祭の前には来場者、保護者用の駐車場の整備を保護者と担当の先生方で実施しました。また、当日は担当者をローテーションで回し、近隣の住民の皆様にご迷惑おかけしないように駐車場の誘導も対応しました。

進路出発式

食物バザーや商店街祭りでの出店の益金を活用し、2学期当初の就職選考開始直前に、生徒の就職や進学的全員合格を祈願し、昨年は「勝つ！カレ」を振る舞い、今年

焼鳥を販売し、益金を生徒へ還元していただきます。

また、3学期恒例の競歩大会では、給水ポイント係や交通整理をしながら生徒を沿道から応援しています。



奄美高校レストラン

は紅白の餅と鉛筆を3年生全員に、3年生保護者役員代表が手渡しでエールを送りました。

結びに

平成元年に生徒会長を務めさせていただいた母校で、節目の年に巡り合う幸運。

は紅白の餅と鉛筆を3年生全員に、3年生保護者役員代表が手渡しでエールを送りました。

結びに

平成元年に生徒会長を務めさせていただいた母校で、節目の年に巡り合う幸運。

「100年の魂とうとうがなし 伝統を受け継ぐ5つの輝き」

この光輝く子どもたちの未来を三位一体で見守って行きましょう。